

平成 18 年 月 日

関係高等学校長 様

東北地区高等学校文化連盟放送部会 会長  
岩手県立盛岡商業高等学校長 細 川 仁

第 10 回東北高等学校放送コンテストについて(派遣依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記について下記のとおり実施いたしますので、貴校放送部(委員会)ならびに引率教員の派遣についてご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 敬 具

記

- 1 大 会 第 10 回東北高等学校放送コンテスト
- 2 主 催 東北地区高等学校文化連盟放送部会
- 3 主 管 岩手県高等学校文化連盟放送専門部
- 4 日 時 平成 19 年 2 月 3 日(土)11:30～2 月 4 日(日)14:30
- 5 会 場 岩手県民会館 岩手県盛岡市内丸 13-1 tel. 019-624-1171
- 6 その他

- (1) 別紙要項等を熟読の上、各県事務局をとおして、期限厳守で手続きをお願いいたします。
- (2) 旅費については、主催者では負担いたしません。あらかじめご了承下さい。

以 上

第 10 回東北高等学校放送コンテスト事務局

<http://www2.iwate-ed.jp/mo1-h/misc/housou/tohoku/>

〒020-8515(住所記載不要)岩手県盛岡市上田 3-2-1

岩手県立盛岡第一高等学校 菊地達哉

Fax.019-654-4227 tatsuya-kikuchi@mo1-h.iwate-ed.jp

## 派遣依頼一覧

### エントリー

\_\_\_\_\_部門 (氏名・番組名)\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_部門 (氏名・番組名)\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_部門 (氏名・番組名)\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_部門 (氏名・番組名)\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_部門 (氏名・番組名)\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_部門 (氏名・番組名)\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_部門 (氏名・番組名)\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_部門 (氏名・番組名)\_\_\_\_\_

### 審査員

\_\_\_\_\_部門 準決勝 A・B 決勝 \_\_\_\_\_先生

\_\_\_\_\_部門 準決勝 A・B 決勝 \_\_\_\_\_先生

- ・審査員の方には、審査をお願いする日の昼食をご用意いたします。
- ・準決勝審査員の方は、2月3日 12:00 の準決勝審査員打合せ(昼食兼)に、決勝審査員の方は、2月4日 9:20 の決勝審査員打合せにご出席ください(第1会議室)。

### 制作・審査規定の変更点について

- ・テレビキャンペーン部門のテープを、DV を可としました( 7 ページ)。
- ・テレビキャンペーン部門の「CG などを使用する場合はあくまで補助的手段にとどめそれが主体にならないようにする」の文言を削除しました。
- ・全部門の指定のシールは廃止しました。
- ・アナウンス部門と朗読部門における、不測の事態による遅刻についての措置を明文化しました( 5・6 ページ)。

### その他

- ・会場に手荷物置場を設けます。コインロッカーもご利用ください。 以 上

# 第10回東北高等学校放送コンテスト(岩手大会) 開催要項

<http://www2.iwate-ed.jp/mo1-h/misc/housou/tohoku/>

1. 目的  
豊かな創造性と未来への展望を持つ人間としての高校生に対して、校内放送をとおし番組の制作技術の向上、表現力、創造性の開発および、豊かなコミュニケーションと文化活動の振興を図る。
2. 主催  
東北地区高等学校文化連盟放送部会
3. 共催  
岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟
4. 主管  
岩手県高等学校文化連盟放送専門部
5. 後援  
盛岡市教育委員会・NHK盛岡放送局・IBC岩手放送・テレビ岩手・めんこいテレビ・岩手朝日テレビ・エフエム岩手・岩手日報社・盛岡タイムス社
6. 日時  
平成19年2月3日(土)11:30～2月4日(日)14:30
7. 会場  
岩手県民会館 <http://www.echna.ne.jp/~iwkenmin/>  
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸13-1  
盛岡駅よりバス(バスセンター行 他)にて「県庁・市役所前」下車、徒歩2分 tel. 019-624-1171
8. 開催部門 (参加規定、制作・審査規定参照)
  - (1)アナウンス部門
  - (2)朗読部門
  - (3)ラジオキャンペーン部門
  - (4)テレビキャンペーン部門
9. 審査員 (制作・審査規定参照)  
大会会長が委嘱する専門職審査員および各県代表の教育職審査員による。
10. 表彰
  - (1)アナウンス部門・朗読部門  
最優秀賞 1 賞状・副賞(トロフィー)  
優秀賞 2 賞状・副賞(トロフィー)  
優良賞 3 賞状・副賞(楯)  
奨励賞 4 賞状  
入選 10 賞状
  - (2)ラジオキャンペーン部門・テレビキャンペーン部門  
最優秀賞 1 賞状・副賞(トロフィー)  
優秀賞 2 賞状・副賞(トロフィー)  
優良賞 3 賞状・副賞(楯)  
奨励賞 4 賞状
11. 日程
  - 2月3日(土)
    - 11:30～12:30 総合受付(大ホールロビー)
    - 12:00～12:50 準決勝審査員打合せ(第1会議室)
    - 13:00～13:30 開会行事(大ホール)
    - 14:00～17:00 各部門準決勝  
アナウンス部門A・B(中ホール, 37名×2)  
朗読部門A(第1会議室, 37名)  
朗読部門B(第2会議室, 37名)  
キャンペーン部門(大ホール, 38本×2部門)
    - 17:00～18:00 特別講演(生徒対象, 大ホール)  
総会(顧問会議, 中ホール)
  - 2月4日(日)
    - 9:00～9:20 決勝進出者(校)発表および  
決勝受付(大ホール)
    - 9:20～9:50 決勝審査員打合せ(第1会議室)
    - 10:00～10:40 アナウンス部門決勝  
(大ホール, 20名)
    - 10:50～11:40 朗読部門決勝(大ホール, 20名)
    - 11:50～12:30 キャンペーン部門決勝  
(大ホール, 10本×2部門)
    - 12:30～13:30 昼食・休憩
    - 13:30～14:00 講評(大ホール)
    - 14:00～14:30 閉会行事(大ホール)
12. 各種規定  
参加規定、制作・審査規定、台本様式等は、別に定める。
13. 宿泊等  
宿泊および昼食の斡旋、指導者研修会(2月3日)の申込み受付については、別紙により指定業者が行う。  
申込締切: 平成18年12月8日(金)

## 第 10 回東北高等学校放送コンテスト(岩手大会) 参加規定

<http://www2.iwate-ed.jp/mo1-h/misc/housou/tohoku/>

### 1. 参加資格

各県事務局から推薦された個人または学校

### 2. 各県推薦(エントリー)

#### (1)推薦(エントリー)数

ア アナウンス部門・朗読部門 各県 12 名以内, 開催県は 14 名以内, かつ, 1 名 1 部門。

イ ラジオキャンペーン部門・テレビキャンペーン部門 各県 6 本以内, 開催県は 8 本以内, かつ, それぞれの部門について各校 2 本以内。

#### (2)推薦(エントリー)締切 平成 18 年 12 月 8 日(金)

(3)推薦(エントリー)方法 各県事務局から大会事務局に, 別に配布する様式により作成した電子データを, メールで送付する。

### 3. 参加料

(1)各部門とも 1 名(1 本)につき, 5,000 円

(2)納入期限 平成 18 年 12 月 8 日(金)

(3)納入方法 各県事務局がとりまとめの上, 次の口座に振り込む。振込手数料は, 各県事務局負担。

岩手(いわて)銀行 本宮(もとみや)支店

普通 2016844

東北高校放送コンテスト 丹野 満(たんのみつる)

(4)その他 領収書は銀行発行のものとする。

### 4. 原稿・台本・作品の提出

(1)提出する原稿・台本・テープ等の数

ア アナウンス部門・朗読部門 原稿 3 部

イ ラジオキャンペーン部門 MD1 本・台本 3 部

ウ テレビキャンペーン部門 テープ 1 本・台本 3 部

(2)提出締切 平成 18 年 1 月 26 日(金)17:00 必着

(3)提出方法 各県事務局とりまとめの上, 大会事務局に, 郵送または宅配便により送付する。費用は各県事務局負担。

### 5. その他

(1)当コンテストのために集められた個人情報については, コンテストの目的以外には使用しない。

(2)使用著作物については, 著作隣接権を含め, 権利者の許諾を得るとともに, 制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。

(3)応募された番組などは, 主催者に関連する印刷媒体, ウェブサイト, 放送などで利用することがある。制作にあたっては, 番組に登場する著作物や出演者, 協力していただいた方々などから, 公開の承諾を得ておくこと。

### 6. 大会事務局

<http://www2.iwate-ed.jp/mo1-h/misc/housou/tohoku/>

〒020-8515(住所記載不要) 岩手県盛岡市上田 3-2-1

岩手県立盛岡第一高等学校 菊地達哉

tatsuya-kikuchi@mo1-h.iwate-ed.jp

tel. 019-623-4491 fax. 019-654-4227

### 手続き一覧

送付者	内容	方法	送付先	締切
参加校	宿泊・昼食 指導者研修会参加申込み	FAX	指定業者	12 月 8 日(金)
	宿泊・昼食 指導者研修会代金	口座振込	指定業者口座	1 月 16 日(火)
各県事務局	参加者 参加校推薦, 審査員報告	メール	大会事務局	12 月 8 日(金)
	参加料, 東北高文連放送部会費	口座振込	大会事務局口座	
	原稿・台本・MD・テープ	郵送等	大会事務局	1 月 26 日(金)17:00 必着

## 第10回東北高等学校放送コンテスト(岩手大会) 制作・審査規定

http://www2.iwate-ed.jp/mo1-h/misc/housou/tohoku/

### 1. アナウンス部門

(1)内容 次のア、イのいずれかの規定による。

ア 第54回NHK杯全国高校放送コンテスト：自校の校内放送に使用するものとし、原稿を生徒が自作したものに限り。

イ 第31回全国高等学校総合文化祭(島根大会)：あなたの住む地域の伝説・民話・神話に関する話題を全国の仲間に伝える内容の自作原稿。ただし20世紀までの伝説・民話・神話とする。なお、静止画は使用できない。

(2)規定時間 番号と氏名を読むこととし、それらを含め、次の時間とする(氏名の前には学校名を読まない)。字数は制限しない。

ア (1)アの場合、1分10秒以上1分30秒以内

イ (1)イの場合、1分30秒以内

(3)原稿様式 次のア・イにより作成する。提出後の内容の変更は認めない。

ア 表紙は様式1-1、2ページは様式1-2、3ページ以降は様式1-3による。

イ 原稿の大きさはA4版の袋とじ(2カ所)とし、仕上りA5版で3部作成する。

(4)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア 内容

(a)素材の選び方は適当であるか

(b)文章表現は適当であるか

イ アナウンスの技術

(a)自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

### (5)準決勝

ア 出場者は、A・Bの2会場に分かれて、エントリー番号順に、事前に提出した原稿をアナウンスする。

イ 各会場から10名ずつ、計20名を決勝出場者として推薦する。

ウ 不測の事態による遅刻と会長が認めた場合に限り、次の措置をとることができるものとする。

準決勝終了までに到着した場合、エントリー番号にかかわらず準決勝の発表を認める。

準決勝に間に合わない場合、決勝での発表を認める。ただし原則として表彰の対象としない。

### 2. 朗読部門

(1)内容 次のア、イのいずれかの規定による。いずれの場合も作品の改変は認めない。

ア 第54回NHK杯全国高校放送コンテストの指定候補作品の中から1編を選び、自己の表現したい部分を抽出して朗読する。

「三四郎」夏目漱石(角川文庫)

「鞆に本だけつめこんで」群ようこ(新潮文庫)、収録作品のいずれを選んで良い

「リセット」北村薫(新潮文庫)

『阿Q正伝・狂人日記』より「阿Q正伝」

魯迅著、竹内好訳(岩波文庫2006年新版)、

指定作品のみ

「五重塔」幸田露伴(現代口語訳不可、出版社不問)

イ 第31回全国高等学校総合文化祭(島根大会)の規定：あなたの住む地域にゆかりのある作家または作品。なお、BGMは使用できない。

(2)規定時間 番号、氏名、著者名(訳者名は読まない)、書名(短編集の場合は、『\* \* \*』より「\* \*」のように作品名も)を読むこととし、それらを含め、次の時間とする(氏名の前には学校名を読まない)。字数は制限しない。

ア (1)アの場合、1分30秒以上2分00秒以内

イ (1)イの場合、2分00秒以内

(3)原稿様式 次のア・イにより作成する。提出後の作品，朗読箇所の変更は認めない。

ア 表紙は様式 1-1，2 ページは様式 1-2，3 ページ以降は様式 1-3 による。

イ 原稿の大きさは A4 版の袋とじ(2カ所)とし，仕上り A5 版で 3 部作成する。

(4)審査の視点 次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア 内容

(a)作品の選定は適当であるか

(b)朗読として適切な部分を抽出しているか

イ 朗読の技術

(a)内容表現上，声の出し方や言葉の運びが自然で適切か

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(5)準決勝

ア 出場者は，A・B の 2 会場に分かれて，エントリー番号順に，事前に提出した原稿を朗読する。

イ 各会場から 10 名ずつ，計 20 名を決勝出場者として推薦する。

ウ 不測の事態による遅刻と会長が認めた場合に限り，次の措置をとることができるものとする。

準決勝終了までに到着した場合，エントリー番号にかかわらず準決勝の発表を認める。

準決勝に間に合わない場合，決勝での発表を認める。ただし原則として表彰の対象としない。

3. ラジオキャンペーン部門

(1)内容 指定するキーワードを題材とした番組。

ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ 内容や構成は自由とするが，学校生活のみならず，広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ 番組は，参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや，他の作品などからの脚色や改作は認めない。

(2)キーワード 「窓(まど)」

(3)規定時間 25 秒以上 30 秒以内

(4)制作様式 次のア～ケにより制作する。提出後の内容の変更は認めない。

ア MD に標準モードで録音し，1 本を提出する(LP モード不可，Hi-MD 不可)。バックアップ用として同じ内容を録音したカセットテープを大会当日持参すること。

イ MD とケースには，エントリー番号・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 再生は，標準速度，モノラル(L+R)で行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 最初に「ラジオキャンペーン部門」「作品名」の順でクレジットコールを入れたのち，3 秒後に本編を開始する。

カ 本編の最後の音から 3 秒後に「制作は 高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

キ 前後のクレジットコールを含め，1 つのトラックにまとめる。

ク 計時は本編の最初の音から，終わりのクレジットコールの「制作は 高等学校(放送部・委員会)でした」の「せ」の音までとし，その計測値から 3 秒を差し引いた値をもって再生時間とみなす。

ケ バックアップ用のカセットテープには，MD と同じ内容を，A 面の最初から録音する。リーダーテープにかからないよう留意のこと。

(5)台本様式 次のア～オにより作成する。提出後のタイトル、内容の変更は認めない。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角15文字相当以内とする。

イ 表紙は様式2-1、2ページは様式2-2による。3ページ以降は様式2-3に準ずる独自様式でもよい。

ウ 最終ページは様式4により、使用著作物一覧を記入する。

エ 末尾に、音源使用許諾書(様式自由)、JASRACの明細書、その他使用したすべての著作物について、使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 台本の大きさはA4版の袋とじ(2カ所)とし、仕上りA5版で3部作成する。

(6)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

- ・指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・ラジオの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

- (a)制作の手法
- (b)取材の方法や努力
- (c)企画構成
- (d)演出・編集
- (e)技術
  - ・録音の技術
  - ・アナウンスやナレーションの技術
  - ・音楽や効果音の使い方など

(7)準決勝

ア 出場校が事前に提出したMDを、大会役員が会場の機材を使用してエントリー順に再生する。

イ 10本を決勝出場として推薦する。

4. テレビキャンペーン部門

(1)内容 指定するキーワードを題材とした番組。

ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ 内容や構成は自由とするが、学校生活のみならず、広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ 番組は、参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや、他の作品などからの脚色や改作は認めない。

(2)キーワード 「窓(まど)」

(3)規定時間 25秒以上30秒以内

(4)制作様式 次のア～カにより制作する。提出後の内容の変更は認めない。

ア 次のいずれかのフォーマットで録画した1本を提出する。テープの最初から録画すること。DVの場合は、バックアップ用として同じ内容を録画したVHSまたはS-VHSテープを大会当日持参すること。

- ・DV(DV-mini 民生用、標準速度、音声は16bit stereoまたは12bit stereo 1)
- ・VHSまたはS-VHS(標準モード、Hi-Fi音声)

イ テープとケースには、エントリー番号、学校名とタイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 再生は、標準速度、モノラル(L+R)で行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 本編の前後に10秒間ずつ、様式5のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ 計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの最初までとする。

(5)台本様式 次のア～オにより作成する。提出後のタイトル、内容の変更は認めない。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角15文字相当以内とする。

イ 表紙は様式3-1、2ページは様式3-2による。3ページ以降は様式3-3に準ずる独自様式でもよい。

ウ 最終ページは様式4により、使用著作物一覧を記入する。

エ 末尾に、音源使用許諾書(様式自由)、JASRACの明細書、その他使用したすべての著作物について、使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 台本の大きさはA4版の袋とじ(2カ所)とし、仕上りA5版で3部作成する。

(6)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

- ・指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

- (a)制作の手法
- (b)取材の方法や努力
- (c)企画構成
- (d)演出・編集
- (e)技術
  - ・撮影や録音の技術
  - ・アナウンスやナレーションの技術
  - ・音楽や効果音の使い方など

(7)準決勝

ア 出場校が事前に提出したテープを、大会役員が会場の機材を使用してエントリー順に再生する。

イ 10本を決勝出場として推薦する。

5. 審査員(全部門共通)

(1)準決勝 専門職審査員 1名および教育職審査員 6名(各県1名)の7名で行う。

(2)決勝 専門職審査員 4名および教育職審査員 6名(各県1名)の10名で行う。

6. 採点・講評(全部門共通)

(1)部門の「審査の視点」に基づき、100点法、1点刻みで総合的に採点する。

(2)採点のめやすは次のとおりとする。

20 30 40 50 60 70 80 90 100  
悪い 普通 良い 大変良い

(3)各審査員は、得点一覧を、会場ごとに定める審査主査(開催県教育職審査員)に提出する。

(4)各審査員は、準決勝および決勝のすべての発表ごとに、講評を記載する。

7. 得点集計および順位(全部門共通)

(1)得点集計と順位

ア 準決勝 教育職審査員の最高点と最低点を除いた500点満点とし、合計点の高い順に順位を決定する。2会場に分かれる部門では、会場ごとに順位を決定する。

イ 決勝 すべての審査員の最高点と最低点を除いた800点満点とし、合計点の高い順に順位を決定する。

(2)順位決定の特例 合計点と同じ場合は次のア、イの順に従って順位を決定する。

ア 専門職の得点(専門職が複数の場合はその合計点)の高い方を上位とする。

イ カットされた得点の高い方を上位とする。

(3)集計後の審査会は原則としておこなわない。

8. 決勝(全部門共通)

(1)決勝進出者は2月4日(日)の9:00に会場で発表する。

(2)決勝進出者(作品)は当日指定する場所でエントリーの手続きを行う。

(3)決勝のエントリー順は乱数表を用いて指定する。

(4)決勝審査では、準決勝の得点を参考にしない。

9. 規定違反(全部門共通)

(1)規定違反は審査の対象としない。なお、重大な違反が判明した場合は、大会後においても賞を取り消すことがある。

(2)計時の許容範囲は、アナウンス部門と朗読部門は±2秒、ラジオキャンペーン部門とテレビキャンペーン部門は±1秒とする。

10. 講評・審査結果一覧(全部門共通)

(1)講評用紙はコンテスト終了後に該当校に交付する。

(2)MD・テープはコンテスト終了後に該当校に返却する。

(3)審査結果(得点)一覧は、審査員名を削除した上で、コンテスト終了後に各県事務局に送付する。



## 第10回東北高等学校放送コンテスト岩手大会

# 宿泊・弁当のご案内

このたびは、第10回東北高等学校放送コンテスト大会が、盛岡市において開催されますことを心より歓迎いたします。また、トップツアー(株)盛岡支店が本大会の宿泊・弁当等のお世話をさせて頂くことになり、誠に光栄に存じております。当支店としましても、万全の準備をし、ご満足いただけるよう努力いたす所存でございます。社員一同、心より大会のご成功をお祈りいたしております。

トップツアー株式会社 盛岡支店

支店長 加藤規夫

### 1 宿泊ホテルと料金のご案内(1泊2食付き,消費税込)

No	ホテル名	宿泊料金	所在地
1	「ホテルニューカーリーナ」	生徒 6,510 円	〒020-0024 盛岡市菜園 2-6-1 019-625-2222 / Fax019-625-2244
		引率 7,140 円	
2	「ホテルカーリーナ」	生徒 5,985 円	〒020-0024 盛岡市菜園 2-6-1 019-624-1111 / Fax019-624-1119
		引率 6,615 円	
3	「ホテルエース盛岡」	生徒 6,510 円	〒020-0021 盛岡市中央通 2-11-35 019-625-2222 / Fax019-625-2244
		引率 7,140 円	

欠食料金：朝食欠 735 円 / 夕食欠 1,050 円

### 2 昼食お弁当のご案内

- ・料金 630 円(お茶付き,税込み)

会場周辺は食事施設がありませんので予めご予約をお勧めします。

### 3 指導者研修会のご案内

- ・日時 2月3日(土)19:00~21:00
- ・場所 ホテルニューカーリーナ
- ・料金 6,000 円

### 4 お申込・お支払い方法

- ・申込書(別紙)に必要な事項をご記入の上、**12月8日(金)まで**、FAXまたは郵送でトップツアー(株)盛岡支店までお申し込みください。
- ・その後、12月20日(水)頃「宿泊ホテルご予約証」「お弁当引換券」「ご請求書」等をご送付致しますので、請求書に記載の**1月16日(火)まで**、ご入金をお願いします。
- ・お振込み手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。
- ・領収書が必要な場合は予めお知らせください。
- ・精算返金がある場合は、本大会中に返金させていただきます。

## 5 変更・取消のご案内

- ・変更・取消の場合は、必ず書面か FAX にてご連絡をお願いします。  
(電話でのご連絡は、トラブルの原因となる恐れがあるので応じかねます。)
- ・取消料金は、別頁の通りとなります。
- ・お取消のご返金は、取消料を差し引き、本大会中に精算します。
- ・事務整理上、多少時間がかかる場合がございますので、予めご了承ください。

## 6 取消料について


宿泊

取消日	取消料
1) 旅行開始日の前日から起算してさかのぼって8日目にあたる日以前の解除	無料
2) 旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目にあたる日以降の解除	旅行代金の30%
3) 旅行開始日の前日の解除	旅行代金の50%
4) 当日の解除又は無連絡不参加の場合	旅行代金の100%

弁当

取消日	取消料
前日12時まで	無料
上記以降の取消	100%

## 【お申込・お問合せ】

	「トップツアー(株)盛岡支店」 担当者：畠山 / 阿部 電話 019 - 651 - 8800 / FAX 019 - 653 - 2093 〒020-0022 岩手県盛岡市大通 1-11-13-6 階 営業時間 9時20分～18時00分(月曜～金曜) 9時20分～12時40分(土曜) 日曜・祝日は休業日 FAXは終日受付できます
	[お振込先] 金融機関：岩手銀行 大通支店 普通 071901 口座名：トップツアー(株)盛岡支店 (お振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます)

**第 10 回東北高等学校放送コンテスト岩手大会  
宿泊・弁当・指導者研修会 お申込書**

学校名	高等学校										
引率責任者											
学校住所	〒 ----- (学校所在地)										
連絡先	ご担当者名		学校 TEL		自宅電話						
	ご利用交通機関		学校 FAX		携帯電話						
名 簿							宿泊		指導者 研修会	お弁当	
No	氏名	フリカナ	引率	生徒	男性	女性	2/2 金曜	2/3 土曜	2/3 土曜	2/3 土曜	2/4 日曜
例	岩手 太郎	イワテ タロウ									
例	盛岡 一郎	モリオカ イチロウ									
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											

記入例を参考に、参加者名と該当の欄に 印をご記入ください。夕食欠の場合は、 印でご記入ください。

欄が不足の場合は、コピーをしてお使いください。

宿泊ホテルに希望順位の番号をご記入ください			お申込書送付先 (締切 12月8日)	
宿泊ホテル	希望順位	記入例	 トップツアー(株)盛岡支店 電話 019 651 8800 FAX 019 653 2093 担当 畠山 / 阿部	
「ホテルニューカーリーナ」(生徒 6,510 円)		1		
「ホテルカーリーナ」(生徒 5,985 円)		3		
「ホテルエース盛岡」(生徒 6,510 円)		2		
ご意見 ご要望				